

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和2年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2-1)	生涯学習講座・教室開催事業	生涯学習課	生涯学習グループ	令和3年6月20日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	2	生涯学習の充実	
	主要施策	2	生涯学習講座・教室の充実	
	主要事業		生涯学習講座・教室開催事業	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する			
	  			

■事業内容【PLAN】

事業目的	市民の生涯学習ニーズにこたえるため、子どもから高齢者までを対象としたさまざまな教室・講座を開催し、学習機会の充実を図ります。					主な協働・ 関連団体等	
事業概要	自らの地域の歴史・文化を学ぶことができる生涯学習講座を企画し、開催します。						関連する 個別計画・ 根拠法令等
事業の開始・ 終了	開始年度	2020	年度	終了年度	2028	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	2020年度(実績)		2020年度(計画)		2021年度(計画)		2022年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	生涯学習講座 講師謝礼	32	生涯学習講座 講師謝礼	16	生涯学習講座 講師謝礼	16	生涯学習講座 講師謝礼	16
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合計	32	合計	16	合計	16	合計	16
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	
(2) 生涯学習講座・教室などへの参加者数	人	1,892	1,914	712			2,000	2,100	

指標の分析 各種講座及び教室などへの参加者数の減少については、新型コロナウイルス感染症の影響により、講座や教室の半数以上が中止及び参加人数制限を実施したため。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者数は大幅に減少しましたが、講座や教室の開催を望む声が多いため必要があります。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	前年を踏襲するのではなく、講座の申し込み状況に応じて講座の存続について見直しを行った結果、新規講座を開設することとなりました。その結果、外部講師を招く必要性が生じ、講師謝礼が増加するに至りました。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	全ての市民に対して生涯学習を受ける機会を設けることは、公共性の高い事業であるため、市が実施する必要があります。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	生涯学習講座の開催は、総合計画の基本目標である「心豊かで文化を育む人づくりのまち」を実現するために必要な事業であり、教育基本法第3条にある教育の機会均等に繋がります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
コロナ禍で先行き不透明な状況ですので、市民の安全安心を最優先に考え、出来ることを出来る範囲で各種講座および教室の開催をしていきたいと考えています。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和2年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2-2)	生涯学習関連施設の整備充実・有効活用	図書館	図書グループ	令和3年7月2日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	2	生涯学習の充実	
	主要施策	2	生涯学習講座・教室の充実	
	主要事業		生涯学習関連施設の整備充実・有効活用	
SDGs 連携分野	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
				

■事業内容【PLAN】

事業目的	読書会やおはなしの会を通し活字離れを防ぎ、親子や仲間と触れ合う機会を増やすことにより、自己の充実や生活向上に寄与することで生涯学習の手助けをします。					主な協働・ 関連団体等	
事業概要	生涯学習ニーズにあわせた蔵書の充実や親子の触れ合い・仲間づくりの機会を増やす「おはなしの会」等を開催します。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	
事業の開始・ 終了	開始年度	2006	年度	終了年度	2028	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	2020年度(実績)		2020年度(計画)		2021年度(計画)		2022年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	図書購入費	4,822	図書購入費	4,428	図書購入費	4,428	図書購入費	4,428
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
逐次刊行物購入費	973	逐次刊行物購入費	1,034	逐次刊行物購入費	1,034	逐次刊行物購入費	1,034	
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
資料情報借上料	584	資料情報借上料	585	資料情報借上料	585	資料情報借上料	585	
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
視聴覚資料購入費	675	視聴覚資料購入費	670	視聴覚資料購入費	670	視聴覚資料購入費	670	
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
合計	7,054	合計	6,717	合計	6,717	合計	6,717	
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	
(2) 図書館利用者数	人	37,869	30,693	20,951			43,000	43,000	

指標の分析 新型コロナウイルス感染防止対策による休館(4/1~5/29、1/15~2/19)により、利用者数は大幅に減少しました。なお、開館時における利用は年々減少傾向にあります。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	インターネットが普及する中、ボランティア団体の協力を得て、市民が本とふれあう機会を作ることは、生涯学習の充実という観点からも、必要性が高いと考えております。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	読書会でも利用する本の購入に関し、単行本より単価の安い文庫本の購入を増やすことで、購入冊数を増やすことができました。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	読書会やおはなしの会を無料で開催できるのは、市が実施しているからです。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	読書会やおはなしの会を実施することは、総合計画における生涯学習講座・教室の充実を図るために必要な事業であり、親子や仲間と本とふれあう機会の促進に繋がります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
コロナ禍により読書会やおはなし会を一部中止していますが、感染防止を図りつつ、実施可能な事業を検討し、市民が本とふれあう環境を作っていきます。	改善